

函館空港周辺騒音測定局位置図



地図出典：国土地理院ホームページ 地理院地図（電子国土web）を加工して作成

空港所在地情報

- 所在地 北海道函館市高松町511
- 位置 北緯： 41° 46' 12" 東経： 140° 49' 19"
- 標高 111.9 ft (34.1m)

※騒音対策区域線について

「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく、告示上の騒音対策区域に関する縦覧図は函館空港事務所にあり、本ページでは参考としての掲載となります。

函館空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

南北海道教育センター（北海道函館市湯川町3-38-25）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値	WECPNL 年間値（参考）
平成29年	Lden	51.0	51.9	53.6	53.9	53.6	53.0	53.0	52.5	53.6	53.1	53.1	50.7	53	66.6
平成30年	Lden	53.6	50.1	52.6	53.1	53.3	53.2	51.8	54.0	53.7	54.5	53.6	51.8	53	66.8
平成31年	Lden	50.7	51.2	53.4	52.9	53.5	51.9	51.9	52.7	53.6	53.3	53.7	52.4	53	66.4
令和2年	Lden	52.2	52.7	50.9	49.1	47.3	48.1	48.9	51.5	50.3	52.0	53.2	50.1	51	64.6
令和3年	Lden	46.0	46.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	46	60.3
令和3年	騒音発生回数	654	566	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1,220	/
令和3年	騒音の最大値の平均（dB）	73.0	74.4	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	73.7	/

※平成25年度から航空機騒音に係る環境基準の改正により航空機騒音の評価指標が、WECPNLからLdenに変更されました。

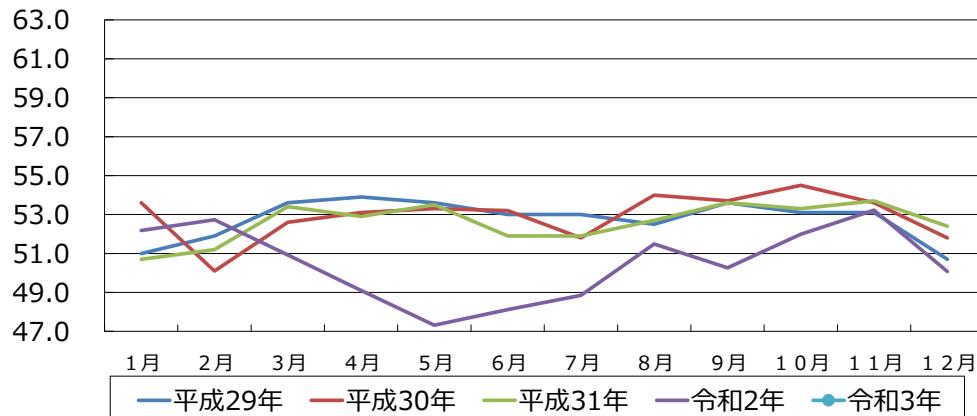
※Ldenとは、「時間帯補正等価騒音レベル」のことで、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した1日の等価騒音レベルを示します。単位はデシベル（dB）。

※WECPNLとは、「加重等価継続感覚騒音レベル」のことで、昭和48年から平成24年までの間において適用されていた航空機騒音に係る環境基準です。

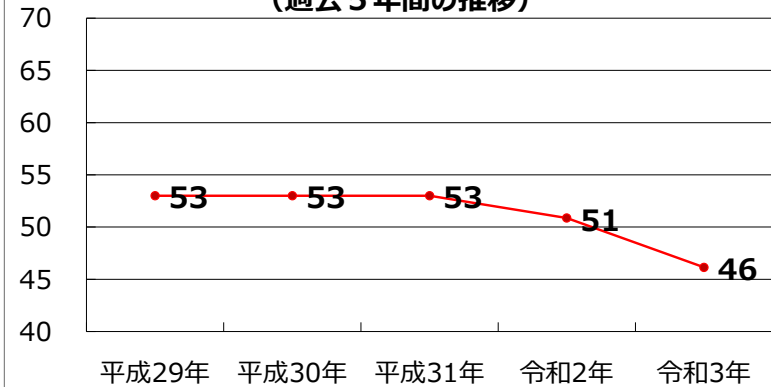
※騒音の最大値の平均は騒音の発生ごとに観測された騒音レベルの最大値をパワー平均した値であり、騒音発生回数とともにWECPNLの算出に用いられます。単位はデシベル（dB）。

※平成30年11月26日～27日は、機器更新のため欠測。

航空機騒音監視測定局における月間Ldenの変化



騒音監視測定局における年間Ldenの変化 (過去5年間の推移)



函館空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

AGL-B (30側) (北海道函館市古川町160-9)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値	WECPNL 年間値 (参考)
平成29年	Lden	52.8	53.1	52.0	53.0	53.6	53.2	53.4	52.8	54.1	54.6	54.8	53.3	53	67.8
平成30年	Lden	53.6	51.7	50.1	53.8	53.3	52.8	51.8	53.6	53.6	54.6	54.5	53.4	53	67.5
平成31年	Lden	52.5	52.7	53.8	53.4	53.5	51.3	51.5	52.6	54.0	53.1	54.4	54.3	53	67.6
令和2年	Lden	53.2	52.9	51.5	49.5	46.9	47.5	47.0	50.4	49.4	51.9	53.9	52.8	51	65.7
令和3年	Lden	49.2	48.6	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	49	64.0
令和3年	騒音発生回数	430	374	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	804	/
令和3年	騒音の最大値の平均 (dB)	79.5	79.3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	79.4	/

※平成25年度から航空機騒音に係る環境基準の改正により航空機騒音の評価指標が、WECPNLからLdenに変更されました。

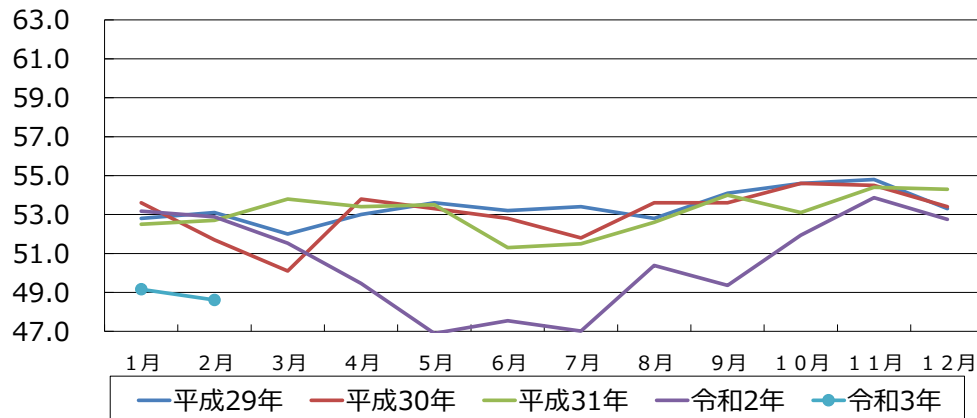
※Ldenとは、「時間帯補正等価騒音レベル」のことで、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した1日の等価騒音レベルを示します。単位はデシベル (dB)。

※WECPNLとは、「加重等価継続感覚騒音レベル」のことで、昭和48年から平成24年までの間において適用されていた航空機騒音に係る環境基準です。

※騒音の最大値の平均は騒音の発生ごとに観測された騒音レベルの最大値をパワー平均した値であり、騒音発生回数とともにWECPNLの算出に用いられます。単位はデシベル (dB)。

※平成30年11月28日～29日は、機器更新のため欠測。 ※令和2年3月25日～26日は、機器不具合のため欠測。

航空機騒音監視測定局における月間 Lden の変化



騒音監視測定局における年間 Lden の変化 (過去5年間の推移)

